

佐野七福神山行報告書

【山行日】2021年1月4日(月) 晴れ

【集合】岩舟支所P AM 7:00

【費用】マイカー1台：300円

【メンバー】CL:福島 SL大西 嶋田 島田 鈴木英 鈴木幸 関 廣瀬

【コースタイム】岩舟支所 P7:00 = 道の駅「みかも」7:05/7:10 = アグリタウンP7:20 → 金蔵院 7:55/8:05 → 光永寺8:30/8:40 → アグリタウンP 8:50 = 圓照寺9:00/9:05 → 厄除大師P9:15 → 物産会館9:25/9:40・観音寺9:40/9:50 → 厄除大師P10:05 = 安楽寺10:15/10:25 = 佐野市運動公園P10:35/10:40 → 西光院11:05/11:15 → フィッシングパーク12:00 → 弁天池12:05/12:50 → 磯山弁財天12:55 → 弁天堂13:00 → 休憩所13:10/13:15 → 弁天池13:20 → 佐野市運動公園P13:55/14:00 = 道の駅「どまんなかたぬま」14:05/14:20 = 岩舟支所14:40

岩舟支所を出発し道の駅「みかも」でトイレを使う。アグリタウンの奥のセレモニーホール用Pに駐車。東へ向かって歩き出す。農村地帯なので馬頭観音、地蔵堂がある。見ながら歩く。朝の空気が気持ちいい。広い市道に出たら歩道がある左側を歩いた。県道9号線の交差点を渡って、佐野プレミアムアウトレットへの歩道を進む。秋は楓が美しい場所だ。駐輪場やアウトレットの職員用駐車場を過ぎるとブロック塀に金蔵院(こんぞういん)の文字が見えて来る。



ブロック塀に沿って進み、正面の正門から入る。本堂にお参りし「寿老尊」像へ向かう。池があり小さな太鼓橋を渡って「寿老尊」の正面へ。一般的には「寿老人」だが、ここは「寿老尊」と彫られている。ご利益は「長寿延命」。皆さん「長寿延命」を願って

丁寧にお参りする。

トイレを使った後、市重要文化財の「延命地蔵尊」の前を通り正面へ戻る。「延命地蔵尊」は佐野特産の天明鋳物の逸品とされている。遠目に「十三仏と十二支一代守りご本尊」や「鐘撞堂」「六地藏」等をゆっくり眺めて出発。

佐野七福神は千年の歴史ある「出流原弁財天」を基にして、平成4年に「真言宗豊山派」のお寺が協力して設置したそうである。旧佐野市の、どちらかというと周辺で、県・市指定の文化財等がある、由緒ある大きなお寺が名乗りを上げ、「佐野七福神霊場会」を結成したとのこと。金蔵院は霊場会の事務局になっている。

金蔵院を後に西に向かって進む。今度は街中で車が多い。なるべく早く、通りの少ない道に入る。六差路を渡りお墓を右に見ながら進むと光永寺(こうえいじ)の東門前になる。塀に沿って正門方向に進む。本堂前に大きな弘法大師の修行像がある。真言宗なので七福神のどのお寺にも弘法大師像がある。

金蔵院を後に西に向かって進む。今度は街中で車が多い。なるべく早く、通りの少ない道に入る。六差路を渡りお墓を右に見ながら進むと光永寺(こうえいじ)の東門前になる。塀に沿って正門方向に進む。本堂前に大きな弘法大師の修行像がある。真言宗なので七福神のどのお寺にも弘法大師像がある。



不動明王が祀られているという本堂にお参りし、左手の「福祿寿堂」へ。光永寺の「福祿寿」は立派なお堂の中にある。赤い帽子とよだれ掛けも可愛い。ご利益は「人望福德」。皆さん、「人望福德」を願ってしっかりお参りする。



光永寺の庭園はよく手入れされていて清々しい。花は梅・桜・ハナミズキ・サツキ等がある。特にハナミズキは綺麗だと聞いている。今は花の季節ではないので、佐野の名木に指定されている「柘植」を見に行く。「手水舎」「六地藏」をさらりと見て、渡り石を渡って「鐘楼」の左手から回遊式庭園に入る。お目当ての柘植は幹が幾つにも分かれているようだ。写真を撮り、東門から出てセレモニーPに向かう。10分程で着いた。

車で50号線を西へ。フルーツ街道に入り、300m程

走ると左に圓照寺(えんしょうじ)の看板が見える。左折し圓照寺のPへ。見ることはできなかったが、ご本尊は大日如来坐像。本殿にお参りし、左手の「布袋尊」へ。金蔵院・光永寺と同じく、花崗岩の三頭身像である。名乗りを上げたお寺の中には本来の七福神像もあったそうだが、話し合いにより、同じ大きさ・作風に統一されたそうである。ご利益の「福德円満」をお願いし、Pに戻る。

フルーツ街道に戻り、ローソンで右折。県道9号のはま寿司から赤坂町の楓通りに入る。ここの楓



も秋になると美しい。厄除大師はバス専用も含めて28の無料駐車場がある。比較的遠い24番を選び駐車。車から降り、秋山川沿いに北へ進む。天明大橋で右へ曲がる。和菓子屋「十三屋」の交差点から次の交差点までの一区画が歩行者天国になり露店が出ている。美味しいものの香が食欲をそそるが、我慢して佐野市観光物産会館のトイレに寄る。物産会館も一方通行になっていて、建物の右奥からトイレへ入り、出ると会館内へ誘導される。佐野市の名産品・特産物が豊富に並べられている。物産会館を出ると観音寺(かんのんじ)



は直ぐ目の前。ところが門が閉まっている。インターホンで訪ねると10時からだそうであるが、入れてくれた。

観音寺は創建500年。本殿にお参りし、市文化財の天明鋳物の大仏にお参りする。「大きいなあ。」と感心する方がいて、改めて大きいのだと思った。戻って「大黒天」に「有福蓄財」を祈る。お花が綺麗に飾ってある。モニュメント等を見て、観音寺は現代적でお洒落だと思う。昨年からは「永代樹木葬」の分譲を始めたそうである。宗派不問で、ペットと一緒にの区画もあるとのこと。



露店に見取れながらも天明大橋まで戻り、「ラーメン417(しいな)」の出店で皆さんと甘酒を飲んだ。体が温まった。Pからは真っ直ぐ西へ進む。「らーめん大金」の前を通り県道67号へ。再び市道へ入り並木町の安楽寺(あんらくじ)へ。



市文化財の仁王門を見学し、表門から入る。本殿にお参りし庭を歩いて「恵比寿尊」へお参りし「商売繁盛」を祈る。「唯一日本の神様」とあるので後で調べてみた。恵比寿は日本の神道の神、大黒天・毘沙門天・弁財天はインドのヒンドゥー教の神、布袋は中国の仏教の神、寿老人・福祿寿は中国の道教の神とのことだった。

佐野市運動公園Pに車を置き、外周トイレを利用して陸上競技場の西から市道へ出る。25分歩くと西光院(さいこういん)に着く。本堂にお参りし庫裡玄

関屋根の下にある「毘沙門天」へ。三頭身が可愛いこと、この上ない。ご利益は「勇気授福」。二層の鐘撞堂と赤い板壁の地蔵堂を見学する。ここは春の桜が綺麗である。特に枝垂れ桜は素晴らしい。見られないが県文化財の「大日如来坐像」や市文化財の「銅造地蔵菩薩坐像」「銅鐘」がある。

「赤見城跡」「からあげ屋チキン坊」「おぐら屋」の前を通り「赤見温泉フラワーフィッシングパーク」へ。トイレを使って弁天池前のテーブルで昼食に。S幸さんの美味しいお汁を使ったお雑煮。手作りの伊達巻2種、スクランブルエッグ、たくわん、ビスケット等もたくさん頂き、お腹いっぱいになった。

一番池の水の透明さに感心しながら太鼓橋を渡り涌釜(わっかま)神社の前へ。トイレを過ぎると白蛇のモニュメントが左に見える。階段を登り拝殿をくぐると左に「出流原弁財天」がある。ご利益



は「愛敬富財」。弁財天は「芸能と学問」の神様として知られている。七福神設置の前から「出流原の弁天様」として親しまれていた。出流原地区では「磯山弁財天」と呼んでいる。

弁財天から更に階段を登る。右に「鐘撞堂」がある。更に登って行くと遠くから見えていた「弁天堂」がある。眺望がよい。ぐるりと一周し風穴洞等を見て一旦下る。左の登りを登って休憩所へ。休憩所は三峯神社の跡地である。少し休んで散策路を西へ下る。「日本名水百選湧水源の碑」の近くに下りる。また一番池を半周し二番池を右に見ながら帰途へ。



国道293号線に沿って少し歩き、静かな市道へ入る。30分で運動公園入口に着く。今度は散歩道を歩く。ローラー滑り台や恐竜のモニュメントを見ながらエントランス広場を通り車に戻った。道の駅「どまんなかたぬま」でトイレと買い物を済ませ、予定より早く岩舟支所に帰着した。現代風の七福神像と佐野市の由緒あるお寺・文化財等を見て貰うことができよかった、と思った山行だった。